シート№10

事後評価シート

調査研究課題名	わが国における NPM 型行政改革の取組みと組織マネジメントに関する研究
担　当　者	岡本裕豪、頼あゆみ、矢澤真裕

①当初目標と目標達成度

NPM 型行政改革のうち組織マネジメントに着目し、これが有効に機能するために参考とすべき、有益な関係理論、有効な手法等の整理・分析を目指した。

New Public Management の考え方を踏まえ、民間部門で活用されている各種のマネジメント理論について、国民を顧客とする効率的・効果的な行政運営という観点から行政部門においても活用できるようにうまく整理することができた。この研究結果を踏まえ、これらのマネジメント理論について、公共部門の特殊性を考慮して、現実の行政執行に具体的にどのように参考にしていくかという分析をさらに進めるべきである。

②調査研究内容の妥当性

公務員制度改革大綱の閣議決定もあり、時宜を得たテーマを選定できた。

行政部門と民間部門とを比較して、必要な組織マネジメントには類似点も多く見られ、民間部門で得られた組織内部のマネジメントに係る知見について、公共部門でどのように活用するかという観点から整理し、提供することができた。

③調査研究の仕組みの妥当性

滋賀大学太田肇教授、京都大学田尾雅夫教授との議論を行うことにより、理論や論点の効率的な理解が可能となった。また、岐阜県・静岡県の県庁にて、ヒアリングを行ったが、組織内部のマネジメントの実態を知ることができ、有益であった。

④成果と活用（予定）

NPM 型行政改革のうち組織マネジメント改革の実現に向けて、有効な知見、参考とすべき理論や手法を提示できた。改革の理論的背景についての基礎知識として、改革推進に係る業務を進めていく上で、必要に応じ、これらの知見を活用して欲しい。

⑤その他